



発刊にあたって

昭和30年3月、1町4村の合併により石井町は誕生し、本年度で町制55年を迎えることができました。

自然環境と比較的温暖な気候に恵まれ、豊かな自然と田園風景を残しながらも、隣接する徳島市のベッドタウンとして様々な開発が行われ発展し続けています。

他の市町村と同様に少子高齢化が進行し、財政状況も非常に厳しい状況にありますが、本町ならではの独自性のある魅力あるまちづくりに取り組み、更なる発展をさせていかなければならないと思っています。

この町勢要覧をご覧になる皆様をとおして、本町への理解を深めていただき、また、よりよいまちづくりへの一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

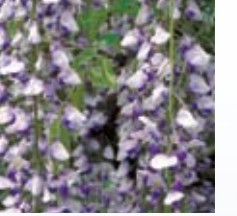
石井町長 河野 俊明

- 石井町民憲章（昭和57年4月1日制定）
- わたしたちは緑濃い四国山地と水清らかな吉野川との間に開け
 温かな気候と豊かな自然に恵まれた石井町の人情あふれる町民です
 わたしたちは先人が残した文化と伝統を受け継ぎ石井町民としての
 誇りと自覚を持ち愛と誠のある暮らしを日々求めて明るく活力のあ
 る太陽と緑の田園都市石井町の発展に努めます
- 一、健康で節度ある生活をし明るく円満な家庭をつくります
 - 一、和を大切に安全につとめ楽しく住みよい社会をつくります
 - 一、緑を育て文化を高め美しく清らかな環境をつくります
 - 一、教育を尊び心身を鍛え夢と希望に満ちた郷土をつくります
 - 一、産業を興し経済を発展させ活気あふれる豊かな町をつくります

石井町民憲章（昭和57年4月1日制定）



町の木／いちよう
(昭和57年6月1日制定)



町の花／藤
(昭和57年6月1日制定)



町の鳥／うぐいす
(昭和57年6月1日制定)



町章

「石井」の文字を図案化したもので、周囲の円は永遠に輝ける発展を示している。
(昭和36年6月公募により制定)

概要

徳島市の西に隣接し、地形は東西約6キロメートル、南北5.5キロメートルの方形で、面積28.83平方キロメートル。吉野川がもたらした肥沃な平地と標高200メートル前後のなだらかな山地や丘陵地からなり、全面積の約65%が農耕地で、林野は一割にも満たない。昭和30年3月、旧石井町と浦庄・高原・藍畑・高川原村の一町四村が合併して成立。人口26,831人、世帯数9,570世帯。(平成21年2月1日現在)

交通

- ・ JR徳島駅から…JR徳島線で約20分。バス・車で約30分。
- ・ 徳島自動車道、藍住又は土成インターチェンジから車で約20分。
- ・ 高松自動車道、板野インターチェンジから車で約30分。
- ・ 徳島空港から車で約45分。

